

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	不老の郷		施設番号	K131
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年5月31日時点)
「介護ソフトの機能を活用し、業務の効率化や情報共有が進むことが期待されます。」について	令和2年度に導入した新介護ソフトは、現状では基本情報と入退所情報と介護請求情報等しか活用できていない状態で、令和3年度から始まるライフへの対応のためにも、介護ソフトの機能をフルに活用していく必要があるため、核となる職員が試験的にソフトが使えるようにマニュアル作りに取り組んでいる。	1、LIFEへ対応するため、令和3年4月31日までに、①既往歴、②服薬情報、③ADL情報、④栄養ケア計画情報、⑤その他の情報を入力する。5月31日までに④機能訓練計画情報を入力する。 2、ケアプランを介護ソフトで作成するためのマニュアルの作成を令和3年6月までに行う。各担当が7月から介護ソフトで作成する。 3、介護記録用介護ソフトと連動したタブレットで記録できるようにマニュアル作成を令和2年9月までに行い、10月から実施する。	① 実施済み 具体的には以下のとおりです。 LIFEへ対応用の①既往歴、②服薬情報、③ADL情報、④栄養ケア計画情報、⑤その他の情報の入力 ② 実施予定(令和3年6月～) 具体的には以下のとおりです。 ①機能訓練計画関連の情報を令和3年6月までに入力。 ②ケアプランの作成マニュアルを令和3年7月までで作成。 ③タブレットでの記録の入力を10月から開始する予定。	① 実施済み (令和3年 5月) 具体的には以下のとおりです。 ①機能訓練計画関連情報を介護ソフトに令和3年5月中に入力完了した。
「施設に潜在するリスクに対する対策の優先順位付けが課題となっています。」について	新型コロナウイルス感染症対策の事業継続計画を令和2年度策定した際、当施設で懸念される、水害対策の事業継続計画も作成し、従来からある震災対応の事業継続計画についても見直し統一した事業継続計画として作成した。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応以外のリスクについては場当たり的な対応になっており優先順位がつけられていなかった。	評価結果を受けて、令和3年度の事業計画の年間計画に盛り込む際、当施設の弱みの部分を補強する計画を盛り込み、潜在するリスクの対策の対応案として優先付けした。	① 実施済み 具体的には以下のとおりです。 令和3年度事業計画年次経営計画の中に、①人材難に対するリスクに対して様々なネットワークを利用して効果的で迅速な人材確保に努める。②設備の老朽化に対して、東京都大規模改修整備事業への公募申請。③稼働率の維持向上。④新型コロナウイルス感染症防止対策、⑤科学的介護への取り組みなどを盛り込んだ。 ② 実施予定(令和 年 月ごろ)	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
「着実な計画に向けて、事業計画等の職員への周知が望まれます。」について	例年事業計画は4月1日の全体会議で施設長が説明し周知していたが、令和2年4月はコロナの影響で全体会議は書面での実施となり事業計画の周知率が低下したものと推測できる。	令和3年度もコロナ禍にあるため全体会議の実施は難しいので、令和3年4月の主任副主任会議及び看護介護会議にて施設長から説明をした後、主任副主任から各セクションの職員に説明する。	① 実施済み 具体的には以下のとおりです。 令和3年4年度の主任副主任会議及び看護介護会議にて施設長から事業計画について説明を行った。 ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とくきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。